

情報システム利用技術に関するインタラクティブ発表

建築分野における情報システムの応用技術

A Study on Computer Technology Symposium

Application of information systems to architectural design and engineering

○構造 一郎*¹, 環境 二郎*¹, 計画 三郎*²
Ichiro Kouzou*¹, Jirou Kankyou*¹ and Saburo Keikaku*²

*1 建築大学建築学科 教授 工博

Professor, Department of Architecture, University of Kenchiku, Ph.D.

*2 情報株式会社設計部 部長 博士(工学)

Manager, Design Department, Joho Corporation, Ph.D.

キーワード：建築；構造；環境；計画；情報

Keywords: Architecture; structure; environment; planning; information.

1. はじめに

「インタラクティブ発表」は A4 版 1 ページまたは 2 ページで構成する。

上下の余白は 25mm, 左右の余白は 20mm。和文は明朝体, また英文はローマン体を用いる。

タイトル, 著者名, 職位等, キーワードは 1 段組で, 本文は 2 段組で記す。

2. 題目・著者名・所属等・キーワードについて

2.1. 題目

題目は日本語, 英語の順で, 14 ポイント, ボールド, 中央揃え (副題は 10.5 ポイント)。英語題目主題は **Headline Capitalization**, 英語副題は **Sentence capitalization** とする。

- **Headline capitalization:** Symposium on Computer Technology of Information, Systems, and Application
- **Sentence capitalization:** Symposium on computer technology of information, systems, and application

2.2. 著者名

著者名は日本語, 英語の順に 9~10 ポイントの中央揃えで, 日本語の発表者名に○印を付ける。*(合い印)は半角*を上付きにする。英語著者名は **Headline Capitalization** とする。

2.3. 所属等

所属・職位・学位は日本語, 英語の順に 9~10 ポイント, 左揃えで記す。日本語の所属等には半角の*と著者名に対応した番号を付ける。英語の所属等は **Headline capitalization**。

2.4. キーワード

キーワードは日本語, 英語の順で, 最大 6 つまでを 9~10 ポイントで中央揃え, それぞれをセミコロンで区切る。英語のキーワードは **Sentence capitalization** とし, ピリオドで終わる。

題目と著者名の間, 著者名と職位等の間, 職位等とキーワードの間は 1 行あける。

3. 本文

キーワードの下に 2 行あけて本文を記す。本文は 2 段組で, 1 段の幅は 82mm, 段組の間は 6mm とし, 1 段にはなるべく 25 字×48 行 (文字の大きさ 9 ポイント相当) 入るように設定する。寸法内であれば, 文字数で 1 文字, 行数で 1 行程度の差があってもよい。1 ページ目については, 題目等が入るので本文の行数は各自調整すること。本文の各段落の頭は, 必ず字下げ (1 文字) する。

4. 図表について

4.1. 図について

本文と図の間は 1 行空け, 図は中央揃えにする。図幅は段の幅 82mm 以内または 2 段分の 170mm 以内。図の次行には図番および図題を設け, 図番および図題の下は 1 行空ける (Figure 1.)。

